

5月の生活・仕事相談会が開かれます

生活あんしんセンターが苫前町で生活・仕事相談会を開きます。
もし誰にも相談できずに困っていることがあれば一緒に考えましょう。

るもい生活あんしんセンターってどんな所？

北海道留萌振興局がつくった相談窓口です。
地域の機関と連携して解決に向けた支援を行います。

どんな相談でも大丈夫です！

・高齢の親のことが心配 ・病気で働けない
・・・などの相談が
あんしんセンターに寄せられています。

○相談会開催日時・会場

5月25日（水） 14:30～15:20 苫前町公民館

※新型コロナウイルスの関係で急きょ相談会場が変更となる場合があります。

※相談会のお申込は、開催日前日の15時までに電話・メールでお申込ください。

※留萌管内に住民票のある方に限ります。

お申込み・お問合せ

るもい生活あんしんセンター TEL：0164-56-1616

FAX：0164-56-1618

通行規制区間への進入の危険性について

道路で災害が発生した場合などには通行止め等の規制が実施されます。

通行止め区間へ脇道などから侵入すると、損壊した道路からの転落や、崩落した土砂に巻き込まれる等の重大な事故に繋がる恐れがあります。

大変危険ですので指定された迂回路のご利用をお願いします。

なお、通行規制の状況は次のホームページで公表しています。

通行規制情報（北海道地区道路情報のページ）

URL：<https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm>

お問合せ先

北海道留萌振興局 留萌建設管理部 用地管理室維持管理課

6月1日は「電波の日」です

総務省では6月1日を「電波の日」と定め、6月10日までの「電波利用環境保護周知啓発強化期間」に電波利用に関するルールの周知・啓発活動を行います。

総務省北海道総合通信局では、電波の使われ方を監視し、適正な電波環境の維持に努めています。

電波に関する困りごとやご相談は、お問合せください。

お問合せ先 総務省北海道総合通信局 ☎011-737-0099

※電話受付時間 8:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

6月は「外国人労働者問題啓発月間」です

国内で就労している外国人は多数おりますが、その就労状況をみると、社会保険等の未加入や適正な労働条件が確保されないなどの問題が散見されます。

このような状況を踏まえ、外国人を雇い入れる際は、次の3点をご確認ください。

- ① 就労が認められる在留資格であること
- ② 雇入れ・離職の際には、それぞれハローワークに届出を行うこと
- ③ 労働保険・社会保険等の加入をはじめ適正な雇用管理を行うこと

なお、厚生労働省では労働施策総合推進法に基づく、外国人労働者の適正な雇用管理のための指針を定めていますので、ご確認いただき、外国人を雇用するようお願いします。

また、お問合せにつきましては、お近くのハローワーク又は労働基準監督署までお願いいたします。

お問合せ先 ハローワーク留萌 ☎0164-42-0388

留萌労働基準監督署 ☎0164-42-0463

役場新採用職員の紹介

令和4年4月1日付



久保 来華
保健師

<抱負>

4月から保健福祉課に配属となりました。保健師として皆さまのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



江端 元春
主事

<抱負>

4月から保健福祉課に配属となりました。早く仕事と職場に慣れ、住民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



福士 萌菜
主事補

<抱負>

4月から住民生活課に配属となりました。苫前町の職員としての自覚をもち、貢献できるよう精一杯頑張ります。



萬谷 亮太
主事補

<抱負>

4月から住民生活課に配属となりました。苫前町職員としての自覚を持ち、仕事をしていきます。よろしくお願いいたします。

J A北海道厚生連 苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は

5月：5月26日(木)

6月：6月9日(木)、23日(木)

大変混み合いますので、なるべく事前の電話予約をお願いいたします。不明な点がございましたら電話でお気軽におたずねください。

受付
13時～
16時15分

管理栄養士による「今日からあらためる食事療法・なんでも相談」内科の予約診療
5月：5月18日(水)

午前・午後とも予約制です。ご希望の方は電話でお気軽におたずねください。

毎月、管理栄養士が対応します。医師の診察があります。



J A北海道厚生連 苫前厚生クリニック(☎65-3535)

5月 町税の納期

今月は、

固定資産税

の納付月です。

納期内納付にご協力願います。

風力発電の売電状況 (町営風車「風来望」)

令和4年4月分の実績

供給電力量 610,312kWh
12,084,177円

苫前町の交通事故情報

令和4年4月の事故状況

発生件数 0件 死者数 0件 負傷者数 0件

令和4年1月から4月末までの事故状況

発生件数 2件 死者数 0件 負傷者数 2件

交通事故死ゼロ日数は
4月30日現在で293日

道立羽幌病院からの お知らせ

苫前町での巡回診療は、九重コミュニティセンターで6月16日(木)に行います。

北海道立羽幌病院
電話：0164-62-6060

謹んでお悔やみ申し上げます
氏名 伊藤 優子 年齢 82 死亡日 3月23日 住所 長島
谷田 恭兵 父/母 出生日 3/30 住所 古丹別
谷田 恵美 父/母 出生日 3/30 住所 古丹別
谷田 恵美 父/母 出生日 3/30 住所 古丹別

戸籍の小箱

ご成長をお祈り申し上げます
○旭 上平町内会へ
坂下 秀幸様

ご厚志に感謝します

議会だより

No. 127

苫前郡苫前町字旭37番地の1

令和4年度 苫前町各会計予算

一般会計

53億4,344万9千円

特別会計(6会計合計)

14億1,524万2千円

総額67億5,869万1千円

特別会計予算

国民健康保険特別会計	4億4,612万5千円
介護保険特別会計	4億5,337万2千円
後期高齢者医療特別会計	6,969万1千円
簡易水道事業特別会計	1億3,167万6千円
下水道事業特別会計	2億 344万8千円
風力発電事業特別会計	1億1,093万円

令和4年第1回町議会定例会は、3月7日に招集され、会期を17日までの11日間と決め、開会初日は条例4件、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算6件、その他1件を可決し、町長、教育長が執行方針を行った。

翌8日は、令和4年度一般会計及び各特別会計の予算説明のあと、予算特別委員会に付託し、9日から14日までの間は議案精査のため休会とした。15日に再開、2名が一般質問を行ったあと、予算特別委員会にて付託された議案の審議を行った。一般会計及び各特別会計予算6件、条例3件、発議1件、同意1件、決議案1件を可決し、会期を2日残り15日に閉会した。

令和4年度各会計予算可決

令和4年度 主な事業

- ふわっと大規模改修事業
- 生きがいデイサービス送迎バス購入
- ななかまどの館改修工事
- 浄水場耐震化補強設計業務



- 北星団地旧教員住宅改修工事
- 旧福祉センター解体工事
- 上平バスターミナル改修工事
- 郷土資料館改修工事調査業務

令和3年度 苫前町各会計補正予算

一般会計	補正額	820万円	減額
	総額	45億5,791万円	
国民健康保険特別会計	補正額	1,067万円	減額
	総額	4億3,827万円	
介護保険特別会計	補正額	3,338万円	減額
	総額	4億3,287万円	
後期高齢者医療特別会計	補正額	219万円	減額
	総額	6,415万円	
簡易水道事業特別会計	補正額	4,264万円	減額
	総額	3億8,420万円	
下水道事業特別会計	補正額	1,171万円	減額
	総額	1億9,775万円	
風力発電事業特別会計	補正額	894万円	減額
	総額	1億1,431万円	

令和4年第一回定例会

令和4年3月7日

〔職員の育児休業等に関する条例の一部改正〕

非常勤の国家公務員に係る育児休業等の取得要件が緩和されることから、国家公務員との権衡を踏まえ改正する。

〔町営住宅条例の一部改正〕 〔特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正〕

近年の家族の多様化を踏まえ、同居親族要件で里親制度

における里子等を加えることとし改正する。

〔簡易水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正〕

水道法に定められている水道技術管理者の職務を遂行する上で、技能、職権及び資格基準を有した者の選任を明確にし、職務の遂行を確実に行うため改正をする。

〔財産の無償譲渡〕

- ・譲渡する財産
- 上平共同利用模範牧場監視舎A
- コンクリートブロック造平屋建
- ・譲渡の相手方
- (株)ジェイウインド
- ・譲渡の条件
- 譲渡物件を自己の責任において解体撤去する。

〔一般会計補正予算〕

質 西 議員

ふるさと応援寄附金が増え、基金に積み増しされているが、今後の運用、充当施策について伺う。

答 小澤副町長

目的に沿って寄附して下さっており、これまでの計画の他に新規政策に対しても充当できるよう検討する。

質 西 議員

がん検診の予算の減額がみられるが、コロナ禍による受診控えが起こるなど、新規がん患者の早期発見に影響が出ている。今後の考え方について伺う。

答 横野保健福祉課長

コロナ禍による受診控えの影響は否めない。がん患者の発見が遅れないように、日程

の調整やクーポンを活用するなど、あらゆる方法を考えしていきたい。

第1回 臨時会

1月20日 開催

●一般会計補正予算

- ・総務費(燃料・光熱水費) 416万円
- ・子育て世帯等臨時特別支援事業費 5,914万円

・新日本海地域交流センター管理費 3,100万円

一般会計総額 45億6,612万円

●介護保険特別会計補正予算

- ・介護認定審査等費 24万円
- 介護保険特別会計総額 46億625万円

●風力発電事業特別会計補正予算

- ・電気事業管理費 4万円
- 風力発電事業特別会計総額 1億537万円

決議案

●ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

ロシアはウクライナへ軍事侵攻を行い、我が国の平和と秩序・安全を脅かし、国連憲章に違反する行為であり、北海道民として断じて容認できない。世界の平和の実現に向け、国際法に基づき誠意を持った対応を強く求める。



一般質問

2氏が登壇

地産品地商「とままえマルシェ（仮）」の開催について

質問 伊藤まち子



結果、地域経済を動かし、商品廃棄を減らし、町民自ら地元の良さを実感してもらい、遠方の知人や親類に苦前の良さをPRしていただきたい。大きな期待を込めて、町長の考えを伺う。

答弁 富士敦朗町長



3年目を迎えた新型コロナウィルス感染症。コロナ禍での生活にも慣れはじめ、イベントや会合は中止、外出を控え、家飲みやインターネットを利用したりモート会議、通販販売での商品購入、店舗での購入は近郊の大型店でのまとめ買いをするように変化してきている。

これらが、町内での購買低下と在庫商品の増加を起こしているように感じるが、町はどう捉えているのか。地域で生産された産物や商店での商品等を地域で商いをし、消費してもらう「地産品地商」の造語を使用させてもらい、農業・水産業・商業が一同に会して、町内での販売促進会仮称（とままえマルシェ）の開催を要望する。



の地場産品の良さを、まずは地域住民が再認識できる機会であり、安定的な消費の維持・拡大と在庫商品の減少にもつながる。
例年開催予定の北海道風車まつりや北海道風あげ大会が、新型コロナウィルス感染症のまん延状況により開催が困難となった場合は、徹底した感染予防対策を講じた上で、提案の仮称「とままえマルシェ」といった販売促進会の開催可否を十分に協議し、検討をする。
提言を基に農漁業、食と観光など、さまざまな苦前の魅力を生かし、活力溢れる苦前を実現したい。

今後の苦前農業、農地のあり方は

質問 村本 隆



昨年未政府は、水田活用の直接支払交付金見直し案で、今後5年間に一度も水張りのない水田は、もはや水田とみなさないと発表。農業者は、不安を抱えての春耕期を迎えた。今後の苦前の農業・農地のあり方について伺う。

答弁 富士敦朗町長

昨年12月に通知された、水田活用の直接支払交付金の見直し案は、交付対象水田の見直し、牧草地単価の減少など、農業経営に直結した生産者への交付金減少だけにとどまらず、農地の流動化や耕作放棄地の発生など、地域の農業に様々な影響を及ぼすことが懸念される。農業者所得の減少とならないよう、国・道に強く要望していくと共に、引き続き、農産物の品質向上や販路拡大、付加価値を高め、農業生産額が維持できるよう、これまで以上に農業者に寄り

添って本町農業を支えていく。

答弁 大川農業委員会会長

(宮野農業委員会事務局長代読)

本町の農家戸数は、年々減少傾向にあるが、これまで離農跡地を担い手農家や農業法人が集積してきており、農家戸数に反比例して一経営体の規模は拡大してきているものの、遊休農地や耕作放棄地などを発生させず、農地の集積保全が図られてきたところである。昨年12月に公表された見直し案については、交付金の減少にとどまらず、農地の流動化や地域農業全般にわたる様々な影響を及ぼすことを懸念している旨の発言を、総会終了後の意見交換の場にて発言させていただいた。
農地の賃借料については、貸し手、借り手双方にとつて中立の立場にしなければならぬことから、農業委員会として賃借料について指示等できないこととなっている。
今後、水田権利の消失や畑地化等による農地評価変動など情勢が不透明であることから、農業委員会の中で問題提起の上、議論をしていく。

予算特別委員会

委員長 村本 隆
副委員長 田沢 収

新型コロナウイルス臨時交付金や 販路拡大・イベントについて白熱議論

質 問宮委員

昨年度に引き続き、とままえ米消費拡大事業があるが、事業主体など、その内容について説明願う。

答 宮野農林水産課長

事業主体は町で、農協に協力をいただき、業務を委託発注している。米が余り、農家所得が下がる懸念があり、今年は苫前産ゆめぴりか450gをパック詰めをして、1万个を神宮球場にて行われる東京ヤクルトスワローズ戦の来場者に無料で配布する。

質 問宮委員

1億7万円と高額な価格で農協から購入し、試食品を東京で配つてくるということは理解できない。新型コロナウイルス対策するための交付金のはずである。

答 宮野農林水産課長

あくまでもAマートの実勢価格に、より近い単価で町が購入し、消費拡大のPR活動に使ったものである。

答 富士町長

とままえ米を少しでも高く買ってもらうようにPRするものである。無駄なものに使っているとは思っていない。

質 問宮委員

販路拡大イベントも多額の予算がかかっている。その際のチラシの内容についても問題があるのではないか。

答 宮野農林水産課長

チラシについては、町は関与していない。

質 伊藤委員

高校対策費のうち、地方から来ている生徒の交通費の補助金は。

答 宮前こども教育課長補佐

町外から寮に入っている生徒に対し、長期休業の帰省（1・2年生は3回、3年生は2・5回）に、苫前町から公共交通の主要駅・バス停までの費用を高校後援会を通して支給。大阪府については、飛行機代込みの片道2万円を予算化している。

質 西 委員

留萌地域公共交通計画の策定について、当町も全体的な公共交通計画策定に着手し、整合性のとれた路線バスの運行について議論すべきではないか。

答 小澤副町長

これまでも路線バスなど絞った議論は行ってきた。今後に向けて検討していく。

質 田沢委員

ロータリー除雪車の車検と排雪作業時期が重なったが、車検時期の見直しを願う。

答 星 建設課長

今後は調整を図り、対応する。

質 田沢委員

苫前ダム計器交換の内容と、補助制度の有無は。

答 宮野農林水産課長

苫前揚水機場の流量計不具合によるもの。補助はなく町負担である。

質 田沢委員

令和4年度の新規採用者数は何名か。また、今後の採用計画と、定年制に絡んだ職員定数の考え方は。

答 成川総務財政課長

令和4年度は4名。定年制については、改正された地方公務員法に添い、令和5年度から2年おきに1年延長となる。

質 田沢委員

以前は大卒にこだわった採用だったが、今後、初級採用者を入れる考えは。

答 成川総務財政課長

令和4年度の新規採用者のうち2名は初級である。昨年度も初級職の採用があった。

質 西 委員

札幌苫前会（仮称）の設立準備のために予算を支出する意義は。

答 小澤副町長

苫前町出身者で札幌市在住の方が応援団となっていた。また、きたいという思いで予算計上した。

質 伊藤委員

上平バスターミナル改修工事において、裏に設置予定のスロープは、利便性を考えて前にも設置できないのか。

答 小澤副町長

現地を確認後、検討したい。

質 伊藤委員

認知症カフェ開設費用助成金が計上されているが、開設がコロナにより2年延期されている。どの程度、準備できているのか。

答 横野保健福祉課長

コロナウィルス感染症の影響で、開設時期が見通せず対応できずにいるが、旧福祉センター等の備品を再利用しながら執行したい。



改修される上平バスターミナル



認知症カフェが予定されている苫前厚生クリニック

質 早川委員

森林環境贈与税事業費の中で、民有林整備担い手対策推進事業補助金は、今後も継続するのか。

答 宮野農林水産課長

担い手対策事業補助金は、苫前町と羽幌町と森林組合で出資し、担い手確保に向けて継続事業としている。

質 早川委員

北星団地旧教員住宅改修工事の内容は。

答 星 建設課長

空家対策事業の一環として、令和4年度完成住宅は売却予定。5カ年計画で今後も改修継続予定。

質 伊藤委員

新規就農者対策事業補助金が減額されている。昨年、一般質問をした際に、町長からは新規参入について力を入れると回答があったが、なぜ減額されているのか。

答 宮野農林水産課長

新規就農者対策や協議会の設置はできているのか。

答 宮野農林水産課長

補助金については、新規就農者が担い手農家に1年間研修終了後1人60万円を補助するもので、今年度は対象者が無く減額した。

新規就農者協議会等の設立はまだ準備できていない。早急に関係機関と協議する。

質 伊藤委員

三毛別熊事件現場の補修計画終了とのことだが、コンパネの上に茅葺きをしても長持ちしないと聞く。高額になっても耐久性の高い物にするべきではないか。次期修理用の茅の準備はできているのか。

答 本田商工労働観光課長

平成30年度からの計画は終了したが、維持管理上計画を立て修繕し、専門的な知識も保持しながら対処したい。

質 西 委員

風車祭りの予算計上がされているが、開催のための判断基準や規模など、指針を示すべきではないか。他のイベントについても同様で参考になると考える。

答 本田商工労働観光課長

開催の可否について、指針などの明確なものはない。感染状況を見ての判断は実行委員会である。飲食を伴うことについては厳しい状況であるが、検討していく。

質 伊藤委員

地元特産品販路拡大事業業務委託料について、査定や検証等の対策は。1業者に限らずもっと研究をしていただきたい。

答 小澤副町長

1業者だけではなく、他からも参考資料を取り寄せ、契約前段での具体的協議をして鮮明にし、更に実績のチェックを確実にする。

質 西 委員

ふわっと大規模改修や住環境整備のための補助金制度などアイデアを尽くされてきた。建設事業のハード整備にあたり担当の思いがあると思う。これまでどう考えて来ら

れたか。

答 星 建設課長

ふわっとの大規模改修は、現状の予算で期待を背負って要望に応じていきたい。住宅改修は定住を含めて次のステップに繋げたい。たくさんの方の協力あつてのことで引き続き協力をお願いしたい。

質 西 委員

基金などの資金運用については、有益な執行に努め、重責を担い職務にあたってられていと思う。これまでやってこられた心がけについて伺う。

答 川村会計管理者

低金利の時代において、いかに町民のための予算を国債など有利な利息で運用し、財産収入を上げるかを心がけてきた。

質 田沢委員

町費負担の教員は確保しているのか。また、教員退職者なのか。居住地の予定は。

答 宮前子ども教育課長補佐

応募は1件、教員退職者であり、町内居住の予定。

質 早川委員

ふわっとの休業期間の温泉利用者への入浴支援対応は。

答 本田商工労働観光課長

えんべつ旭温泉へのふわっとバス送迎を検討中と聞いている。

● 介護保険特別会計

質 田沢委員

今春開設される介護付き有料老人ホームの27床中、現在の入居予定者数は。

答 横野保健福祉課長

入居予定者数の詳細は、現時点で把握していない。

● 総括質疑

質 西 委員

財政数値、基金運用において安定的なものと評価できるが、今後の大型事業や突発的な課題への対応を整理しておくべき。

まちづくり基本条例に則り、ゼロカーボンシティなど新規事業を含め、総合振興計画と



リフォームされた北星団地（旧教員住宅）



ふわっと大規模改修工事が進む

の整合性を図る中期的な財政計画を策定し共有すべきではないか。

ここ数年、職員の年度途中での退職や休職が多く、加えて定年退職者が続き職員の負担が増す。職場環境に何かあるのか、元気を失い疲れ、疲弊しているように思える。今年一年の町政運営に対し、現状の認識はどうか。職員育成には何が必要と考えているか伺う。

答 成川総務財政課長

公債費を含む財政運営と総合振興計画との整合性は概ねとれている。各起債の制度の変化もあり、柔軟かつ健全に努めやすくなってきた。

答 小澤副町長

各基金管理をしつかりと行い、起債においても関係機関と連携を取っていきながら計画的に進めたい。近年は、自己都合を含めて退職者が増えてきているが、相談できる体制を整えたい。

答 富士町長

今後、改修事業が多くあるため、国の交付金、補助金など歳入の確保に努め、歳出は徹底した経費の削減に尽きる人材については、コロナが影響していると考える。私もできるだけ職員にはソフトにあ

たり、職員との懇談もしてきたが、コロナの流行で中断している。人づくり、人材のスキルアップに心がけていきたい。

質 阿部委員

令和4年執行方針を見ると、一次産業の生産基盤の確立、脱炭素社会の推進、自主財源確保ならびに特産品販路拡大を目指したふるさと納税等、沢山のメニューとなっている。

農業においては、穀類乾燥調製貯蔵施設整備、スマート農業、光ファイバー整備など人口減少を考えた確かな政策であり、農業後継者も定着してきている。

漁業においても、つくり・育てる漁業の推進と浅瀬に人工藻場造成を進め、磯焼け対策を進めることが、ブルーカーボンの機運を高める。新規漁業者を就業定着させる為にも、各種補助整備も長期間継続することも必要。

次には、住環境整備が必要であり、コンパクトシティを目指し、住みよい豊かな生活環境の提供であると思うが。

答 富士町長

将来ある農業のために何ができるのか農業者に寄り添い、いかに有利な事業を引っ張っ

て来るか。農業再生協議会でも協議して知恵を出していく。漁業においては、気候変動でも安定した漁業経営を行うために、第3種漁港整備計画を漁業者の意見を聞きながら実行計画に移していく。

生活基盤を造るには、労働力の確保と外国人研修生の住宅対策、住環境整備などいつまでも暮らしていける苦前を目指し、町政を推進する。



ふるさと納税

質 間宮委員

東京神宮球場での販路拡大イベントに多額の業務委託費用を要している。本来、青年部や女性部なども一緒になつて取り組むべきであるし、地方と都市の交流に展開されるなど、コロナによって疲弊し元気を失っていると、新型コロナ臨時交付金を使うべきと考えるが。

答 富士町長

コロナによって疲弊し、全国的に生産物の在庫を抱える事例が起きている。新型コロナ臨時交付金は、地方を盛り上げるためにというのが、国の考え方である。

町全体で取り組んでいきたいと考えている。



神宮で行われた販路拡大イベント

クリーンな未来に向けて脱炭素社会の実現へ

～脱炭素推進条例制定・苫前町地球温暖化対策実行計画などで議論～

町内指定管理業務や新型コロナ臨時交付金なども



線量率測定器が更新される

医療対策
特別委員会

2月18日

- 苫前厚生クリニック検査機器更新事業補助金 197万円
- ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種（子宮頸癌ワクチン）
令和4年～6年までの3年間で従来の定期接種の対象年齢を超えた接種、併せてキャッチアップ接種も同時に行う
予算額 136万円
- 古丹別歯科診療所改修工事
風除室の設置
予算額 168万円
- 苫前歯科診療所機器更新
レントゲン表示端末、サーバー等の更新
予算額 393万円
- 風しんの追加的対策
過去3年間で対策を行ったが受診率が低かったことから、引き続き令和4年度から3年間延長して実施する
予算額 56万円

総務産業
常任委員会

2月18日
21日

- 苫前町生きがいデイサービスセンター指定管理者の選定
保健福祉課主要事業
過疎対策債を財源に生きがいデイサービスセンター送迎バスの入替。
予算額 1,226万円
- 苫前幸寿園浄化槽補修工事
補正額 111万円増
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
・地元特産品等販路拡大イベント事業
・神宮球場での特産品販売イベント及びヤクルト球団とのタイアップ企画
総事業費 1,000万円
- ・とままえ産米消費拡大事業
ゆめぴりか購入費400万円
- ・パッケージ作成費用
120万円
- ・優良乳用後継牛確保促進事業
事業実施者
るもい農業協同組合苫前支所
事業費 900万円
- ・地元特産品等販路拡大事業
事業3年目としてWeb広告運用継続、パンフレット改訂、特設サイトの運営管理
予算額 660万円
- ・生きがいデイサービスセンター空調整備事業
壁掛エアコン5台を設置
予算額 748万円
- ・苫前町地域応援券発行事業

- 町内全店舗共通券（3千円）を全町民に配布
予算額 1,045万円
- ・社会教育事業等デジタル化環境整備事業
今後の運用に必要な消耗品購入
予算額 8万円
- ふるさと応援寄附金
令和3年度（4月～1月）
寄付金額 3,183万円
- 力屋テレビ共同受信施設改修事業補助金
老朽化と光ケーブル化に伴う改修工事を助成
補助予算額 198万円
- 上平バスターミナル改修工事
予算額 759万円
- 住民生活課主要事業
・地域集会所施設改修補助金
上平ふれあいセンター、長島寿の家、港ふれあいセンター等の改修
予算額 214万円
- ・ごみステーション設置工事
鉄製ごみステーション7基を更新、新たに1基設置
予算額 192万円
- ・汚水処理施設共同整備事業
令和3年度補正額 83万円減額
- 令和4年度負担予定額 2,120万円
- 羽幌町外2町村衛生施設組合負担金
令和3年度補正額 9,228万円減額
- ・新最終処分場埋立土木施設建設工事、浸出水処理施設建設工事、生ごみ堆肥化施設

- 水道事業
浄水場耐震化補強基本設計
352万円
- 土木事業
鋼製大型視線誘導標移設工事



改修工事の対象となった未来港公園の管理棟

- 建設工事はいずれの工期も令和6年1月31日までとし、衛生施設組合では継続費を設定して進めている
- ・令和4年度苫前町負担金 2億1,680万円
- 北留萌消防組合負担金
令和4年度苫前町負担金 1億6,649万円
- 苫前町脱炭素推進の取組み
予算額 1,914万円
- 苫前町商工会独自事業
● 観光施設改修工事
・夕陽ヶ丘未来港公園改修工事
予算額 471万円
- ・ななかまどの館改修工事
予算額 976万円
- ・ななかまどの館備品購入費
予算額 229万円



入学者が増加した苫前商業高校

- ・歩道補修工事
- ・苫前東4条線
- ・苫前1丁目線
- ・古丹別西3条線
- ・古丹別南2丁目線(継続)

- ・昭和長島線横断ボックス補修工事(継続)
- ・防雪板交換工事
- ・夕陽ヶ丘線測量設計委託業務
- ・旭長島線歩道整備工事

- ・橋りよう長寿命化総点検委託業務
- ・小川1号線(小川橋)橋りよう修繕工事
- ・南香川上平線(宮島橋)橋りよう修繕工事
- ・三溪川南線(佐武橋)橋りよう修繕工事
- ・三溪滝下線(清泉橋)橋りよう修繕工事

- 道路除排雪委託業務に係る予算補正**

昨年度と比較し、積雪深が7割以上増加。排雪作業に万全を期すため委託料を増額補正 868万円

●**建築事業**

- ・北斗団地木造平屋建2棟4戸に個別改善を実施
- ・川添団地耐火構造2階建共同住宅3棟16戸の共同玄関に個別改善、うち1棟に屋根改修を実施

●**空家等対策事業**

- ・空家調査の結果
- ・特定空家の認定
- ・苫前町定住促進空家活用事業の改正

1. 省エネ性能が一定程度確保される空家活用に対する助成金額の上限を増額
2. 利用促進のため助成対象範囲を一部拡大

●**社会教育課主要事業**

- ・豊饒太鼓太鼓修繕補助金 60万円
- ・郷土資料館改修工事調査委託料 279万円
- ・B&G海洋センター空調整備工事 100万円

●**苫前商業高等学校入試出願状況及び生徒募集対策・魅力化事業**

- ・入試出願状況 23名
- ・生徒募集対策・魅力化事業
- ・学校訪問、ポスター及びパンフレットによる募集対策
- ・とままえ地域学、商業部、ボランティア活動支援
- ・後援会に対する支援補助金 707万円

●**苫前町若者交流センター指定管理の選定**

- 古丹別中学校閉校事業実行委員会補助金** 80万円
- 機構集積協力金交付事業** 事業実施主体

●**古丹別中学校閉校事業実行委員会補助金**

80万円

●**るもい農業協同組合苫前支所**

- ・地域集積協力金 775万円
- ・対象農地面積44,040a
- 産地生産基盤パワーアップ事業**

取組主体

- ・ノース・ジャパン・トマエ
- ・総事業費 3,300万円

●**担い手確保・経営強化支援事業**

- ・苫前町(対象者2経営体)
- ・事業費 2,508万円

●**苫前町穀類乾燥調製施設指定管理者の選定**

- 道営農村地域防災減災事業**
- ・令和4年度(令和6年度)
- ・八線沢溜池地区(堤体工)
- ・総事業費 2億円
- ・町負担割合11%
- ・令和4年度負担金330万円
- ・北長島地区(用水路)
- ・総事業費 6,000万円
- ・町負担割合14%
- ・受益者負担割合2%
- ・令和4年度負担金196万円

●**町有林人工造林地整備事業**

- ・皆伐工事7ha
- ・かき起こし工事7ha
- ・歳入計 827万円
- ・歳出計 1,174万円

●**造林機械導入事業**

- ・事業主体 留萌中部森林組合
- ・機械購入費 1,060万円
- ・苫前町補助金 320万円
- ・羽幌町補助金 320万円
- ・組合自己負担 420万円
- ・苫前町と羽幌町補助金は森林環境譲与税

●**苫前漁港ICT水質監視事業**

- ・事業主体 北るもい漁業協同組合
- ・総事業費 171万円



山もっとジョージ (導入予定の造林機械)

●**民有林整備担い手対策推進事業補助金**

- ・事業主体 留萌中部森林組合
- ・総事業費 500万円
- ・苫前町補助金 200万円
- ・羽幌町補助金 200万円
- ・組合自己負担 100万円
- ・苫前町と羽幌町補助金は森林環境譲与税

編集後記

今、地球は温室効果ガス、二酸化炭素を排出し続けており、地球の大気温度が上昇し、地球温暖化現象が進んでいきます。我が町も真夏日や猛暑日・少雨の影響により、農作物にも干ばつの被害が発生しています。国は2050年にカーボンニュートラルを目指しており、本町でも風力発電等を活用し苫前町ゼロカーボンシティを宣言しました。CO₂排出ゼロに向かって進む時代が来たと感じています。

一方、新型コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況下にありますが、ワクチンに続き、飲み薬が使えるようになると、以前の暮らしに戻る日も近づいて来ていると思います。コロナ禍の中で、ネット会議・研修が主流となつていますが、相手と直接対話し、心の繋がりを持つことなど、コミュニケーションの必要性は、時代が変化しても変わらぬと思います。こんな時こそ、対面を大切にしたいと感じる今日この頃です。

文責 早川 日出利

入学 ギャラリー



認定苫前こども園



認定古丹別こども園



苫前小学校



古丹別小学校



苫前中学校



古丹別中学校



苫前商業高等学校



新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いします。 「新しい生活様式」の実践をお願いします！

ご自身の体調や症状に不安がある場合は、次の窓口にご相談ください。

「新北海道スタイル」
はじめよう



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



3つの「密」をさげよう



いまは、
きよりをとって



テイクアウトや
デリバリーも

	電話番号	開設時間
○厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター	0120-761-770 (フリーダイヤル)	平日 8:30~17:15
帰国者・接触者相談センター		
○北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター	0120-501-507 (フリーダイヤル)	24時間 (年中無休)
○留萌保健所	0164-42-8327	平日 8:45~17:30
○厚生労働省電話相談窓口	0120-565-653 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)